

# 目 次

1. 水道管路に関するデータベース構築の背景	1
1. 1 データベースの背景と現状	1
1. 1. 1 調査の背景とデータベースシステムについて	1
1. 1. 2 一般のデータベースの現状	2
1. 1. 3 厚生省のデータベースの現状	5
1. 2 水道におけるデータベースの現状	6
1. 2. 1 (社)日本水道協会における現状	6
1. 2. 2 水道関係企業における現状	8
1. 2. 3 海外における現状	12
1. 3 水道界における情報の種類と現状	17
1. 3. 1 水道における情報の全体像	17
1. 3. 2 水道における情報の内容	22
1. 3. 3 水道における情報の利用目的	30
1. 4 データベースに対しての会員の関心度とニーズの状況	31
1. 4. 1 データベースに対しての関心度	32
1. 4. 2 情報に対してのニーズ状況	35
2. センターにおけるデータベース構想	37
2. 1 センターにおけるデータベース構築の基本的考え方	37
2. 2 センターの役割と方向	39
2. 3 情報についての考え方	41
2. 4 センターの情報サービス活動の課題と構築における課題	43
3. 水道管路に関するデータベース構築計画	45
3. 1 データベースとして提供・蓄積する情報	45
3. 1. 1 選定情報	45
3. 1. 2 蓄積情報と提供情報	48
3. 2 情報提供の形態	50
3. 3 センターデータベース構築の段階的進め方	51
3. 3. 1 収集のしくみによる蓄積時期の展開	51
3. 3. 2 サービス時期の展開	52
3. 3. 3 段階的展開の方策	53
3. 4 センターの体制	57
3. 5 必要とする費用の考え方	58
4. まとめ	59
4. 1 水道界の情報交流の現状	59
4. 2 データベース構築による効果	59